TTC 山行実施記録表

2010年11月 28 日　報告者:門間　信一

山行名	丹沢表尾根～丹沢主稜縦走 ［塔ノ岳 1491、丹沢山 1567、蛭ヶ岳 1673、檜洞丸 1601］
実施日	2010 年　11 月 13～14 日 （土・日 ）　　1泊2日
天候／参加人員	天候:晴れ　　レベル:　★★☆　　参加人員:　7 名(男5／女2名)
ﾊﾟｰﾃｨｽﾀｯﾌ	CL:　SL:　会計:　救護:　記録:　　氏　名　削　除
参加メンバー	氏　名　削　除

歩行／行動時間

	1 日目		2 日目	
	歩行時間	行動時間	歩行時間	行動時間
ｶﾞｲﾄﾞﾌﾞｯｸ	5:15		7:20	
計画	5:40	7:05	7:40	9:05
実行	5:58	6:10	7:21	8:21

費用
¥9, 180

本厚木駅～秦野(電車)￥240　、秦野～ヤビツ峠(バス)￥460、西丹沢自然教室～新松田(バス)￥1150
新松田～本厚木(電車)￥330、山小屋宿泊費￥7000

実行コースタイム記録

(11 月 13 日)

本厚木駅＝＝＝秦野駅＝＝＝ヤビツ峠――富士見台登山口――二ノ塔――三ノ塔――鳥尾山
7:00　7:15　8:10　8:46　9:56　10:10　10:33

書策小屋―――新大日小屋―――木の又大日――塔ノ岳―――竜ヶ馬場――丹沢山(丹沢山荘泊)
11:20　11:41-12:08 昼飯　12:18　12:45　13:33　14:20

(11 月 14 日)

丹沢山―――蛭ヶ岳――白ヶ岳――――金山谷乗越―――青ヶ岳山荘―――檜洞丸―――ゴ―ラ沢展望台
6:15　8:03　9:24　11:10　11:23　11:54　12:57

―――ゴ―ラ沢出合―――自然教室、新・旧道の分岐点―――丹沢自然教室バス停＝＝＝新松田駅＝＝＝本厚木駅
13:47　14:00　14:36　16:05　16:40

コースの概要、特記事項、反省事項等

（11 月 13 日）

7：30 に伊勢原駅からヤビツ峠行きのバス停で待ち合わせする。すでに長蛇の列で乗れるか心配したがこの時期は臨時バスが頻回に出ており、無事に乗車できた。

ヤビツ峠は大勢の登山客でにぎわっていた。ちまたで騒がれているとおり、山ガールもみうけられる。体操をすませ登り始める。久しぶりに山にきてよい天気に恵まれた。実をいうと、昨年来、S/T さん&M 家の山行は天気にことごとくうらぎられている。今回、家庭の都合で参加できなかった ST さんに感謝の言葉をかけたいくらいだ。というわけで、本日は男 5 人、女 2 人の 7 人パーティーである。何十年ぶりかで蛭が岳に登るという人も中にはいたが、今年の丹沢大縦走の悪夢を思い出しながら登る人も約 3 名いた。

11 月だというのにやや暑い中、皆の足取りは順調である。男性陣はいつもなら足元ばかりみながら暗い表情で歩いているのに、今回は前から降りてくる山ガールを見定めようと前をまっすぐ向いて登っている。まったく、しょうがないなあ、お父さん。

久々に登る丹沢は人の多さにビックリした。富士山なみというと少し大げさではあるが私にはそう感じた。

先頭はサブリーダーの SK さん、正月の大縦走に比べるとよほど楽なのか、飛ばす、とばす。「あの～もしもし」「なんの、なんの、あの山中湖まで行く距離に比べれば・・・なんのその、ワイン 1・8 リットル持ってきましたよ」という余裕である。そんなこんなであっと言う間に塔が岳に到着する。丁度昼時とあって、山頂は大混雑。焼き肉までやっているグループにはビックリした。あわよくば肉の一切れもいただきたかったが世の中、そんなに良い人はいなかった。そんなにぎわいにうんざり、さっさとそこを退散し、丹沢山を目指す。途端に、先ほどまでの混雑が嘘かとおもうように人が少なくなった。ようやく、自分たちのペースをとりもどしまわりの景色にも目がいくようになる。ここからの富士山のながめは格別であった。時間にも余裕があったため、竜ヶ馬場でコーヒータイムを取る。木のベンチも整備されゆっく

りした時間を満喫できた。
　丹沢山荘は真新しい、きれいな山荘であった。しかし、「今日は混雑しているため、一枚の布団に 2 人」と言われ意味がわからなかった。私達が到着したときは、小屋はガラガラであったため、そんなに来るのかな、あとで空いていたら移動しよう。と話し合っていたが結局は 60 名泊まることになり本当にまいった。体が冷えないうちにビールで乾杯し、例のワインをあっという間に飲み終わった。ここは水が 300 円、ビール 500 円。酒がのめない 0 さんは 500 円でカルピスウォーターを買っていた。酒飲みとしてはその値段の付け方に納得いかない、やはり、ビールのほうが格が上でしょう。

（11 月 14 日）
　5 時起床。6 時 15 分、蛭ヶ岳を目指して出発。晴天ではなかったがそれが却ってよかったのか、幻想的な中、遥か南アルプスまで見渡せ 360 度のパノラマを堪能する。蛭ヶ岳は行く方向と角度でずいぶん違った印象を受ける。さすがは神奈川県の最高峰である。
　檜洞丸から西丹沢自然教室までは初めての歩きである。道々にシロヤシオの木があると S さんに教えられながら降りていく。シーズン中はすごい混雑だと聞き納得できた。来年のつつじの時期にもぜひ来たいところである。道が整備されており、自然教室までの距離も短く感じられた。西丹沢は表とことなり、自然が豊かで奥深く静かに我々を迎えいれてくれた。紅葉の美しさも、これが丹沢か！と今まで気がつかなく申し訳ない思いであった。丹沢もすてたものではないなというより、素敵なところがこんな近くにあったんだと見直した。大事なものは身近にあるのに気かつかないものですね。丹沢トレッキングクラブの名を大切に丹沢にもっともっと行きたいと思った。（KM）